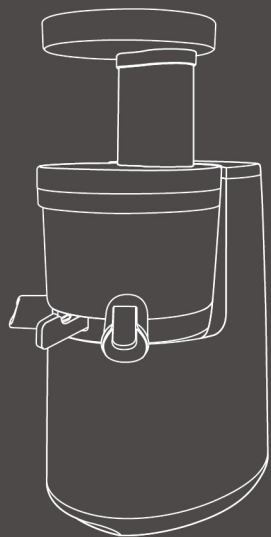


HUROM™

ヒューロム

H2H



部品名称

01

部品名称

02

組み立て方法

04

安全にお使いいただくために

06

使用方法

07

レバー案内

08

使用上の注意事項

09

使用中にスクリューが止まったら

10

ドラムの分解および洗浄方法

11

回転ブラシの分解および洗浄方法

12

故障かなと思ったら
/製品仕様

14

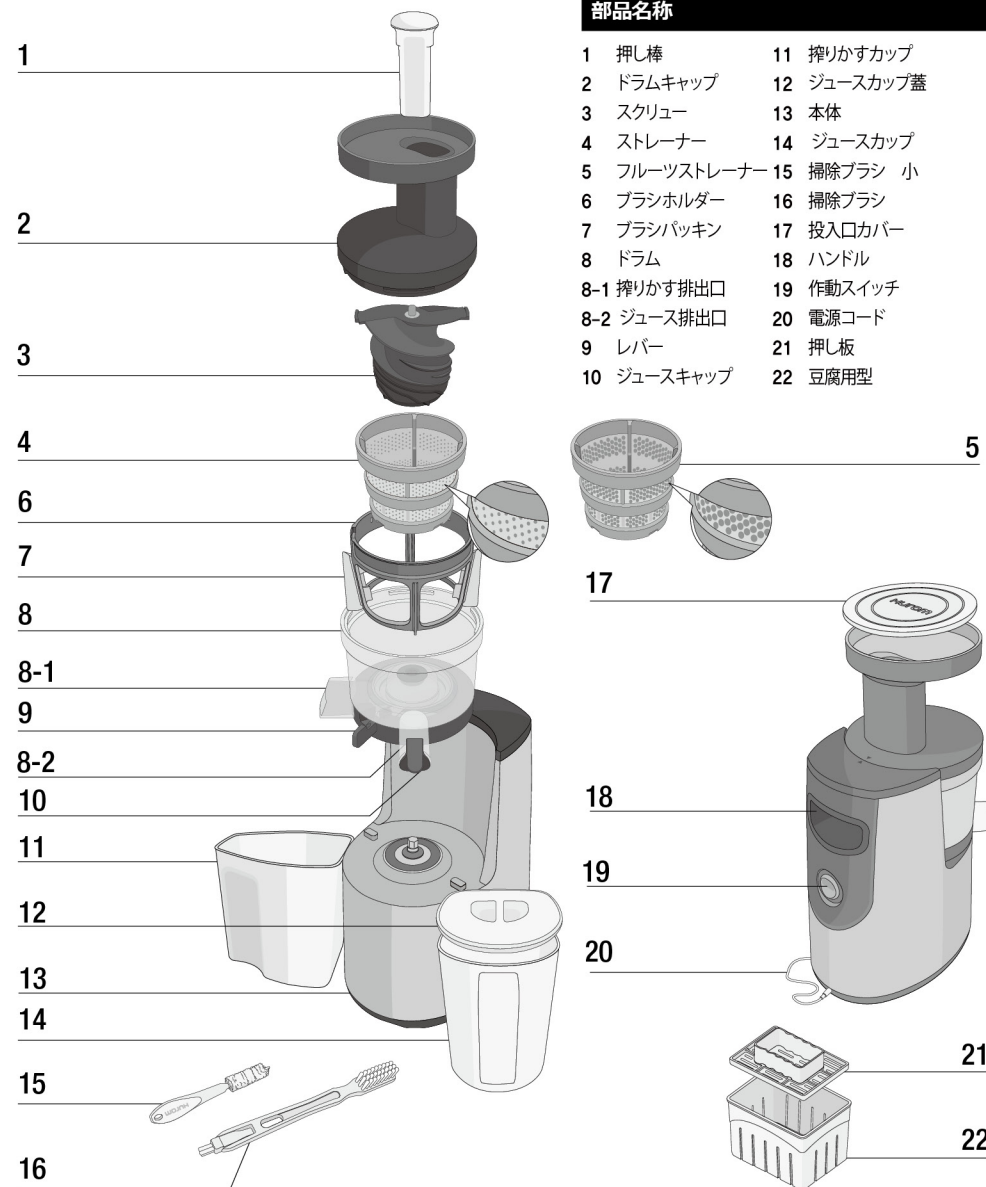
品質保証・アフターサービス
について

15

保証書

HUROM
取扱説明書
家庭用(保証書在中)

- 1 安全にお使いいただくため(P4-5)の注意事項を必ずお読み頂き、正しくお使いください。
- 2 この取扱説明書はいつでもお手に取れる場所に保管をお願い致します。
- 3 この製品は日本国内用です。海外ではご使用いただけません。
- 4 この製品の仕様は品質向上のため、予告せずに変更することがあります。



部品名称

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 押し棒 | 11 搾りかすカップ |
| 2 ドラムキャップ | 12 ジュースカップ蓋 |
| 3 スクリュー | 13 本体 |
| 4 ストレーナー | 14 ジュースカップ |
| 5 フルーツストレーナー | 15 掃除ブラシ 小 |
| 6 ブラシホルダー | 16 掃除ブラシ |
| 7 ブラシパッキン | 17 投入口カバー |
| 8 ドラム | 18 ハンドル |
| 8-1 搾りかす排出口 | 19 作動スイッチ |
| 8-2 ジュース排出口 | 20 電源コード |
| 9 レバー | 21 押し板 |
| 10 ジュースキャップ | 22 豆腐用型 |

5

17

18

19

20

21

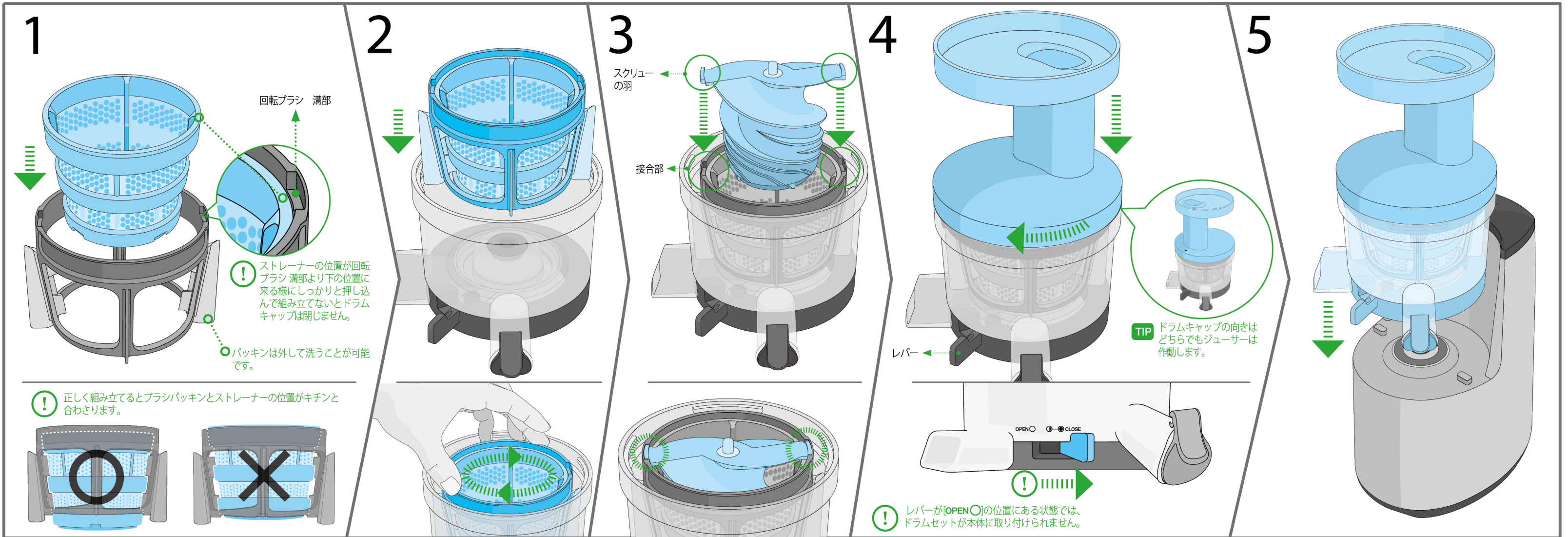
22

ASSEMBLY

組み立て方法

(1~4のようにドラムセットを先に組み立ててから、最後に本体へ取り付けて下さい。)
※取り付けの際はレバーを◎CLOSEの位置にしてください。

HUROM



回転ブラシにストレーナーを、図のようにしっかりと押し込み、ストレーナーが回転ブラシの溝部より下に来るように組み立ててください。
組み立てが完全でないと、ドラムキャップが閉まりません。

1のように組み立てた部品をドラム内で左右に回しながら取り付けます。

スクリーンを図のように組み立てます。
スクリーン両側の羽部を、接合部に合わせるように回していくと、きちんとはまります。

ドラムキャップをドラムに組み立て、時計回りに止まるまで回します。
レバーを◎CLOSEの位置にします。

ドラムセットを先に組み立ててから、最後に本体へ取り付けて下さい。
安全装置について
ドラムキャップがきちんと閉まっていなかったり、開いた状態では、安全装置が働き電源は入りませんのでご注意ください。


安全にお使いいただくために


- ・ご使用前に＜安全にお使いいただくために＞を必ず読んでお守りください。
- ・人体への危害、財産への損害を防ぐためにお守り頂くことを説明しています。
- 誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。










注意 誤った取り扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 この記号は禁止行為を表示する記号です














 この記号は行動を規制したり指示する内容を表した記号です。

警告 警告事項を守らなかった場合、深刻な傷害を負ったり死亡に至る可能性があります。

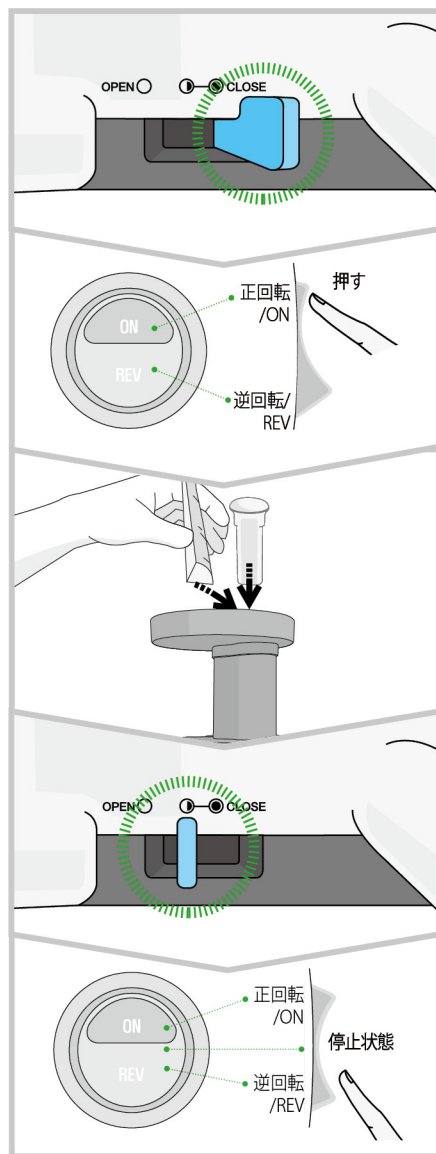
-  電源コードが破損した場合、コード交換は危険を防止するために、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者により行ってください。火災、感電、傷害の原因となります。
-  異常・故障時には、直ちに使用を中止する。すぐに差込みプラグを抜いて、フリーダイヤルに必ずご確認ください。＜異常・故障例＞・部品のひび割れ、破損・電源コード類の異常加熱・焦げ臭い。
-  交流100V以外の電源で使用しないでください。感電、火災、性能異常の原因となります。電圧が異なる場合、モーターの寿命が短縮されたり、故障の原因となる可能性があります。
-  お子様の手の届かない場所でご使用ください。また、お子様や取り扱いに慣れていない方は、一人で使用しないようご注意ください。お子様が本体を誤ってさわったり倒したりすると、傷害や故障が発生する恐れがあります。
-  電源コードをコンセントに深く正確に差し込んでください。感電、火災の原因となります。
-  電源コードをご使用の際は、以下の点にご注意ください。無理に曲げたり束ねたりしない、傷を付けない、引っ張らない、高温の近く、またはガスレンジなどの火気の近くに置かない、重いものを載せない、狭い場所に挟んだり加工したりしない。電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。
-  絶対に改造しないでください。また、任意で分解したり修理しないでください。本体の隙間や穴に指や鉄のピンなどの異物を入れないでください。火災、感電、傷害、故障の原因となります。製品アフターサービスおよび点検については、フリーダイヤルにお問い合わせください。
-  本体を濡らしたり、水をかけたりしないでください。製品のスイッチに、水やその他の異物が入らないようご注意ください。濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電、火災の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電・傷害の原因となります。

安全にお使いいただくために

注意 注意事項を守らなかった場合、重大な傷害を負ったり製品が破損する可能性があります。

-  製品のご使用の際は、ネクタイ、長いネックレス、スカーフなどが投入口に入らないようご注意ください。傷害、故障、破損の原因となります。
-  本体のドラムキャップが正しく装着されていない状態で作動しないでください。傷害や故障の原因となります。
-  ドラムがカラ(食材なし)の状態で作動しないでください。ドラムに食材を投入する際に、穀物類や硬い種が入っている食材(柿・桃など)はそのまま投入しないでください。破損・故障の原因となります。
-  ジュース排出口に箸やスプーンなどを入れないでください。傷害や故障の原因となります。
-  作動中スクリューの回転が止まった場合、[逆回転]ボタンを2～3秒間押し逆回転させます。逆回転作動が完全に止まった後に再度[正回転]ボタンを押してください。「正回転」ボタンが押された状態で継続して停止している場合、モーターの過熱による部品の損傷、機能低下の原因となります。問題が解決しない場合は製品を停止させ、フリーダイヤルにお問い合わせください。
-  本製品は、平らで安定した場所に置いた状態でご使用ください。傷害や故障の原因となります。
-  作動中に本体を移動させたり、ドラムセットや部品の着脱はしないでください。傷害や故障の原因となります。必ず本体を停止させ、電源コードを抜いてから行ってください。
-  1回の使用につき、30分以上続けて使用しないでください。モーターが過熱し、故障の原因となります。5分程度機器を完全に停止させた後に使用してください。
-  投入口に材料を入れる際、押し棒以外のものは使用しないでください。傷害や故障の原因となります。
-  製品に激しい衝撃を与えたり落としたりしないでください。感電、破損、火災の原因となります。
-  使用時以外は、電源コードを抜いてください。その際は、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ってプラグを抜くと、傷害や感電、火災の原因となります。
-  80℃以上の高温では洗浄しないでください。食器洗浄機、乾燥機、電子レンジなどに入れないでください。故障、部品変形の原因となります。
-  本体の重量は約 6.2 kg です。本体を移動させる場合は、必ず両手で本体下部を確実につかんで移動してください。ドラムや本体の側面などを片手で持って移動させると本体が落下し、傷害や故障の原因となります。

使用方法



1 作動させる前に、レバーを●CLOSEの位置に合わせてください。

2 作動スイッチの[正回転/ON]を押します。

3 材料を少しずつゆっくり投入口へ入れ、押し棒で押します。

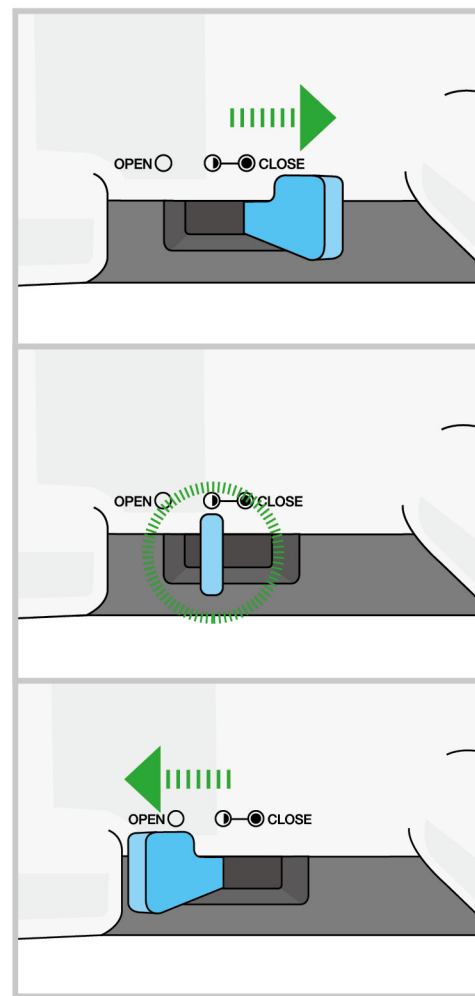
4 最後の材料を投入する前に、レバーを半開①の位置に合わせてから材料を入れます。
レバーを①の位置にする事でドラム内に残っている搾りかすを排出しやすい状態にします。
又、この位置にする事でドラムキャップがスムーズに開きます。

5 搾汁が終了したら、電源スイッチを停止状態の位置に戻し停止させます。

⚠ 正回転や逆回転ボタンは必ずスクリューが完全に止まった後に操作して下さい。

レバー使用方法の説明

ドラムの下にある搾汁パッキンを開閉する事で、ドラム内部に搾りかすが残ることを防ぎます。又、ブレンドジュースを作る際に液体(牛乳等)を入れてからの搾汁作業が可能となりました。



準備・搾汁モード ●CLOSE

準備段階ではレバーは閉じた状態です。ご使用前に必ずレバーが閉まっているかをご確認ください。レバーを閉じることで、濃くマイルドなジュースが出来上がります。又、最初に液体を入れてからの搾汁作業が簡単になりました。

ぶどう・木いちご・キウイ・ザクロ等、種が多い果物はレバーを閉めて搾汁し、ジュースが出始めたから半開にて搾汁してください。

仕上げモード(半開) ①

最後の材料を投入するとき、レバーを半開①の位置に移動させ、ドラム内に残っている搾りかすを排出しやすい状態にします。
ストレーナーの中の残留物を排出することで、ドラムキャップを軽い力で開けることが出来ます。

簡単洗浄時もレバーを半開①にし、投入口より水を入れて作動させることにより、付着したかすを排出させます。

洗浄モード ○OPEN

搾汁が終わり、ドラムセットを本体より取り外し洗浄する時は、レバーを[OPEN○]の位置にしてください。
搾りかす排出口に残った残留物を洗浄する事ができます。

⚠ 本体の上にドラムが設置している状態ではOPENになりません。

⚠ ご使用後にドラムキャップが開かなくなった場合
● レバーを半開①の位置にして、[逆回転/REV]ボタンと[正回転/ON]ボタンを2~5秒間押し手を放す事を2~3回繰り返してください。ドラムキャップが開きやすくなります。

使用上の注意事項



- 柿、梅、レモン、桃のように種が硬い果実は、必ず種を除去してから使用してください。
- 繊維質が豊富な材料(セロリなど)は、2~5cm程度にカットしてからゆっくり投入して下さい。
- 搾汁した青汁、ジュースは長期保存せず、なるべく早めに召し上がってください。
- 穀物粉碎用としてはお使いにならないでください。部品の破損、故障の原因となります。
- 一度搾汁した搾りかすは再搾汁しないでください。
- カラ回転させないようにご注意ください。
- 30分以上続けて使用しないでください。モーターが過熱し、故障の原因となります。連続して使用する際は、一度停止させて5分以上間隔を置いてからご使用ください。
- 動作中には、絶対にジュース排出口に箸やスプーンなどを入れないでください。傷害や故障の原因となります。
- 押し棒以外の物で材料を押さないでください。傷害や故障の原因となります。
- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電、漏電、火災の原因となります。スイッチの周囲に異物が付着しないようご注意ください。
- お酒、蜂蜜、砂糖漬けの果物(ブドウ、キイチゴ、桑の実など)を投入しないでください。ドラムキャップが開きにくくなる原因となります。
- 氷、凍ったままの食材は投入しないで下さい。
- ドラムキャップがきちんと閉まっていなかったり、開いた状態では、安全装置が働き電源は入りませんのでご注意ください。

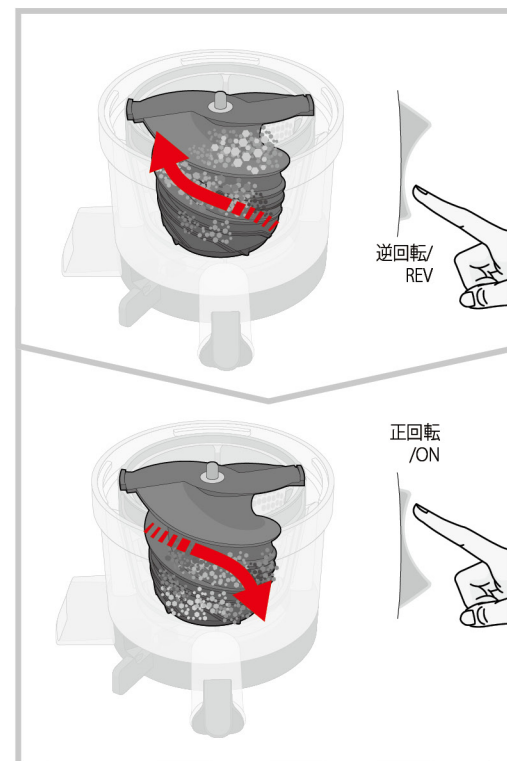
参考

冷蔵庫に長期保管した材料や乾燥した材料または、産地や収穫時期により、搾汁量が少なかつたり、搾汁が不可能な場合があります。

材料別 搾汁方法アドバイス!

リンゴ・梨・キウイ・マクワウリ	リンゴ・梨・キウイ・マクワウリなどの果物は種と皮を一緒に入れ搾汁をします。
ザクロ・ブドウ	ブドウは一粒毎に取り準備し、ザクロは皮を除いて果肉の粒のみ搾汁をします。
スイカ・オレンジ・グレープフルーツ	スイカ・オレンジ・グレープフルーツなどの果物は外側の皮をむいて果肉を3~4センチくらいに切って搾汁をします。
マンゴー・チェリー・柿・梅・桃	これらの果実には固い種がありますので、必ず種を取り除いてから皮を一緒に入れ搾汁をします。固い種を入れる事は製品の破損または故障の原因となりますのでおやめください。
セリ・セロリ	繊維質が豊富なセリなどは3センチ程切って使用して下さい。

* 上記の内容は材料別のおすすめ搾り方アドバイスです。材料の組み合わせはアレルギーや体質に合わせてお選びください。



1 作動スイッチの[逆回転/REV]ボタンを3~5秒間押し続けて手を放す事を2~3回繰り返してください。

- ▶ 逆回転は材料を上を逆回りさせるボタンです。逆回転はボタンを押している間だけ作動し、手を放すとスクリーウの回転が止まります。

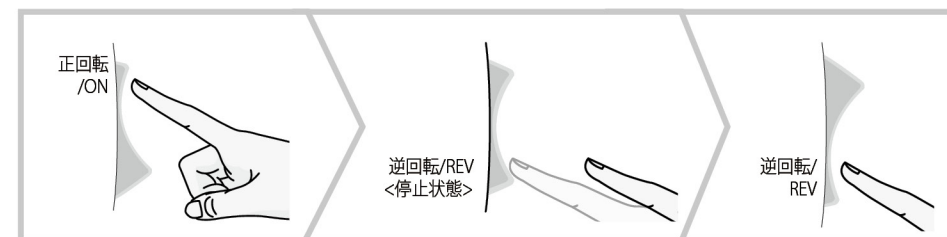
2 逆回転が完全に停止した後、[正回転/ON]ボタンを押して作動させます。

- ▶ 正回転や逆回転ボタンは必ずスクリーウが完全に止まった後に操作して下さい。

参考

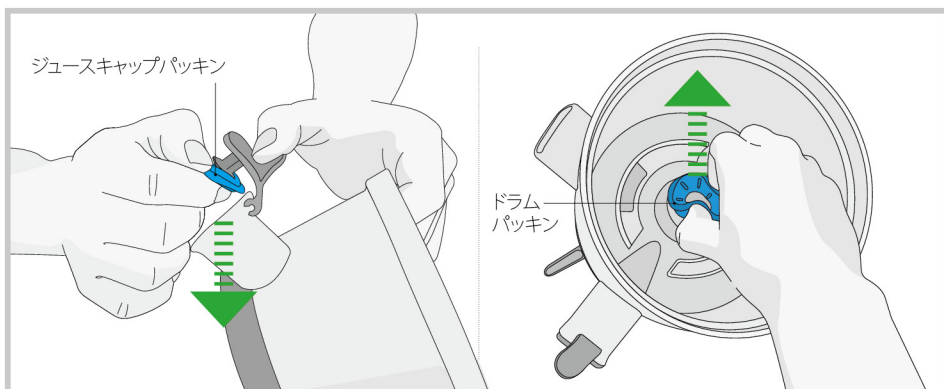
上記の過程でも改善されない場合は、コンセントから電源コードを抜き、ドラムセットを分解して洗浄した後に再度使用してください。

作動スイッチ説明



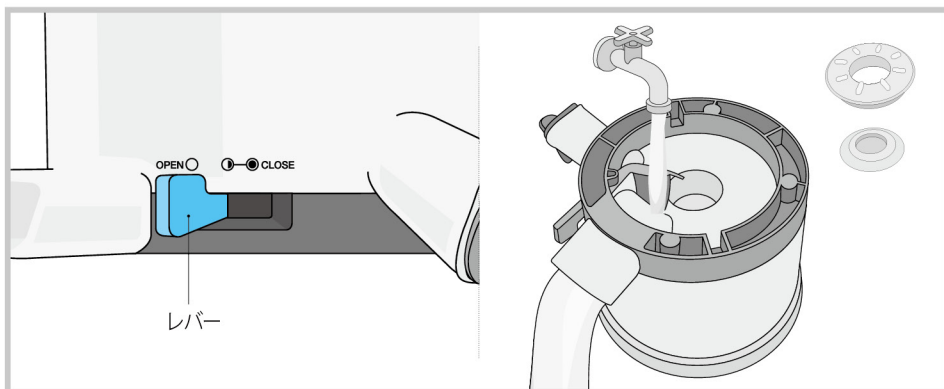
作動中に逆回転をする場合、停止(逆回転)ボタンを押して製品を停止させた後、逆回転ボタンを押してください。モーターの特性上停止させてもすぐには止まりません。(ゆっくり回転しながら止まります。)ボタンは完全に停止した後に押し続けてください。(逆回転中から正回転に戻る時も同一です。)

ドラムの分解および洗浄方法



1 ジュース排出口のジュースキャップパッキンとドラムパッキンを取り外します。

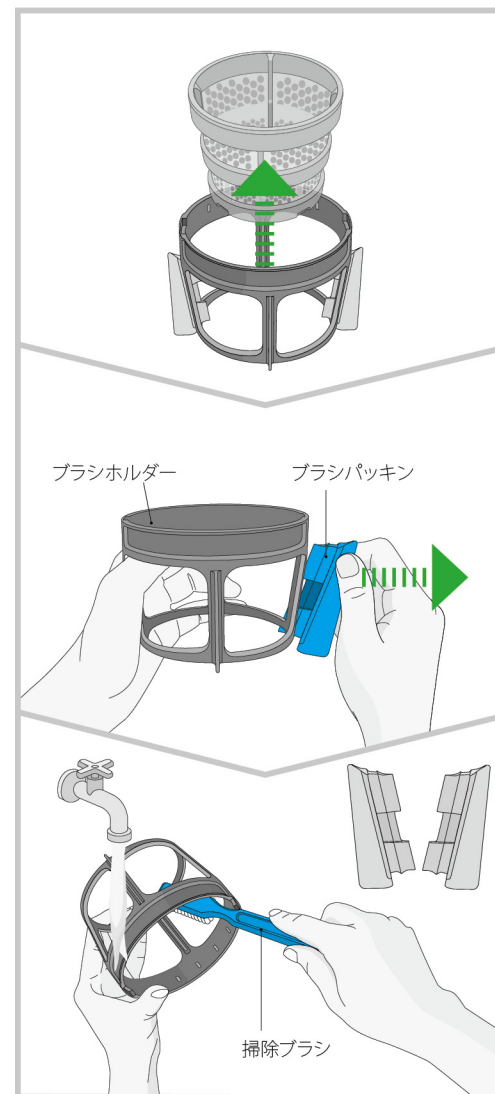
- ▶ ジュースキャップを開け、片手でドラムとジュースキャップを持ち、もう片方の手でジュースキャップパッキンを引きはがして下さい。取り外しの際、ジュースキャップやドラムを落としたり、キャップが破損する恐れがありますのでご注意ください。ドラムパッキンを二本の指で挟み、ひねるようにして取り外してください。



2 ドラムの底面の搾汁パッキンをレバーを [OPEN] の位置にして開いてください。

3 ドラムとパッキンを洗浄します。

- ▶ 搾りかす排出口は水を流しながら、清掃ブラシの柄の部分で搾りかすをかき出すようにお手入れすると効果的に洗浄できます。



1 回転ブラシとストレーナーを取り外します。

2 ブラシホルダーとブラシパッキンを取り外します。

- ▶ 図のようにブラシパッキンの外側部分を手で持って矢印方向に引張って取り外して下さい。矢印と違う方向へ引張るとブラシパッキンが破れたり破損する恐れがあります。

3 掃除ブラシを利用して、水を流しながら磨くようにブラシホルダーの両面を洗ってください。

- ▶ ブラシパッキンも同様に、流水で洗浄してください。

参考

ご使用状況に応じて必要な場合には、漂白剤または食器洗剤を使用して下さい。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、以下の内容をご確認願います。

これらの状態は故障ではありません。修理依頼やお問い合わせの前にもう一度お調べください。

動かない。

- ・電源コードがきちんと差し込まれているかご確認ください。
- ・ドラムキャップが正しく装着されているかご確認ください。ドラムキャップの装着が正しくないと作動しません。
- ・組立て手順にそって組み立てできたかをご確認ください。 解らなければ、組み立て方法の案内ページをご参照の上でフリーダイヤルへご相談ください。

ドラムキャップが開かない。

- ・ドラム内に搾りかすがたくさん残っていませんか？
→レバーを[○]の位置にして[正回転/ON]ボタンを押して、ドラム内のカスを取り除くか、[逆回転/REV]ボタンを3秒～4秒くらい押し再度搾汁をおこなってからドラムキャップを開けてみてください。
- ・異物、固い種などを投入しませんでしたか？
→[逆回転/REV]ボタンを押して異物を投入口の近くまで押し上げてください。
(無理な力を加えて開けようとせずに、上記の手順で改善されない場合はフリーダイヤル(0120-288-859)にご連絡ください。)

作動中に停止した。

- ・ドラムキャップが正常に閉まっているかご確認ください。
- ・ドラム内に入れる材料の量が多い?あるいは太すぎる材料を入れてませんか？
→材料の量が多すぎる等で負荷が多いと、モーターの保護装置が働き自動的に停止します。
逆回転 (P09ページ参考) 等でドラム内より食材を取り除いた上で再度動作スイッチを入れて使用してください。

スクリューに割れたような跡があります。

- ・成形の過程で出来た成形痕(ゲート)です。問題なくご使用いただけます。

本体とドラムの接合部分よりジュースが漏れる。

- ・材料の投入量が多すぎませんか？
→搾りかす排出口の排出量に比べ、投入口よりの材料投入量が多くなると、搾汁パッキンが徐々に押し出され、隙間ができジュースが漏れ出す場合があります。
一度にたくさんの材料をつめ込まず、少量ずつ搾汁してください。
- ・搾汁パッキンが正しく装着されていますかご確認ください。

搾汁時、ドラムが揺れる。

- ・モーターの動きで多少の揺れが発生することがあります。
→材料の特性(かたさ・繊維の種類)に応じて少の揺れが起こることがあります。これは、スクリューが回転することによる正常範囲内の動作ですので、故障ではありません。水分が多く柔らかい材料に比べ、固めの材料は揺れが大きく見えることもあります。(例:ニンジン、じゃがいも、大根等)

ドラムセットが本体に設置できません

- ドラムのレバーが[OPEN ○]の位置にあるとドラムセットが本体に装着できません。
ドラムセットを本体に組立てるする前に、必ずドラムセットのレバーを[● CLOSE]の位置にした状態で装着して下さい。

本体より異臭がする。

- ・連続して30分以上ご使用されていませんか？
→モーターの過熱によりモーターへ付着した油分が蒸発し、異臭がすることがあります。故障ではありません。
モーターが冷えるまで5分程度製品を停止させた後にご使用ください。

製品仕様

●製品名	ヒューロムスロージューサー	●1分当たりの回転数	43/48 rpm
●モデル名	H2H	●コードの長さ	1.4m以上
●定格電圧	100V	●ヒューズ	125V 10A
●定格周波数	50/60Hz	●製品の重量	6.2kg
●定格消費電力	150W	●製品サイズ	幅W 167mm 奥行D 240mm 高さH 398mm
●一時間当たりの待機時消費電力量	約1Wh	●定格使用時間	30分以下の短時間定格

品質保証・アフターサービスについて

保証書のご使用法

- この保証書は取扱説明書内の警告・注意等に従って正常なご使用状態で故障した場合のみ、本書記載内容に元つき、お買い上げ後1年間保証対象部分に限り無償にて修理又は交換する事をお約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間内に故障し、無償の修理を受ける場合には、本製品の保証書を添付の上、サービス窓口にご連絡のうえ送付いただき修理をお申し付けください。
- 保証期間内でも下記の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
 - (ハ) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷
 - (ニ) 本書の提示がない場合
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、或いは字句を書きかえられた場合
 - (ヘ) 故障の原因が本製品以外(電源、他の機器等)にあつてそれを点検、修理した場合
 - (ト) 一般家庭用以外(例えば、業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の故障および損傷
 - (チ) 腐食による故障および損傷
 - (リ) 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※保証期間後の修理・点検等による諸費用は、お客様にご負担願います。またお買い上げの販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。

● 輸入元、販売元：HUROM株式会社

● 故障・修理についてのご相談に関しては・・・

サービス窓口：

HUROM株式会社 サービス窓口 〒104-0043
フリーダイヤル：0120-288-859 東京都中央区湊1-8-12 T.Iビル 2F
受付時間：
10:00～12:00
13:00～18:00 (祝祭日以外の月～金曜日)



※〒ル名をご確認の上、お電話頂くようお願いいたします。

保証書

● 製品保証について

- この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から本体に関しては1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は サービス窓口 にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

● 修理を依頼される時は

 <h3>警告</h3> <p>・故障の時は、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、サービス窓口にご連絡のうえ送付いただき修理をお申し付けください。</p>	 <h3>注意</h3> <p>・ご自分で修理しないでください。大変危険です。</p>	<p>●補修用性能部品について 1.補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 2.本体の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年間です。</p>
---	--	--

アフターサービスについてわからないことは・・・

お買い上げの販売店、または サービス窓口 にお問い合わせください。

保証書

HUROM スロージューサー

持込修理

モデル名：H2H

保証 期間	お買い上げ日 年 月 日
	お買い上げの日から本体1年間 (一般家庭用に限り)
ご住所	〒
	電話
お客様 お名前	ふりがな

様

本書は、下記の保証規定により無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に万一故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、下記記載の サービス窓口へ修理をご依頼ください。保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は必ず販売店発行の領収書または、その他購入年月日、店名等を証明するものを合わせてご提示ください。

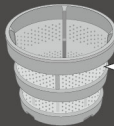
安全点検の為に、写しをとる可能性がある場合は、お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店様へお願い

この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発揮するものですから、必ずご記入ください。

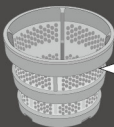
お買い上げ店 住所・店名	電話	印
-----------------	----	---

ストレーナーVSフルーツストレーナー どっちがいいかな？



ストレーナー

網の目が小さいものは、果肉が硬い果物・豆・繊維質が豊富なジュースを作る時に使用します。ストレーナーは、比較的澄んだジュースを搾る際に使用します。



フルーツストレーナー

網の目が大きいものは、柔らかい果物(イチゴ・キウイ・トマト)や粘り気のある材料のジュースを作る時に使用します。

フルーツストレーナーは、果肉が豊富なフルーツの果汁を搾る際に使用します。

HUROM™

www.huromjapan.com

0120-288-859

Made in korea